

建築設備設計基準ソフトウェア

STABRO

STANDARD OF MEP ENGINEERING DESIGN

負荷計算

建築設備設計基準 令和3年版



最新基準に対応してさらに使いやすい
一般社団法人公共建築協会編集・発行
『建築設備設計基準 令和3年版』に準拠した
最大空調熱負荷計算ソフトウェアです。

☆本プログラムは一般社団法人公共建築協会の許諾を得て開発・販売を行っています。



STABROが選ばれる理由

- 1 使いやすい
- 2 低コスト
- 3 広がるデータ連携



詳しくは裏面へ

① 使いやすい

・直感的で使いやすい

リボンメニューの採用、アイコンを一新してさまざまな機能を見つけやすく、素早くアクセスできます。はじめての方でも直感的に違和感なく使い始めることができます。

・すぐれた編集機能

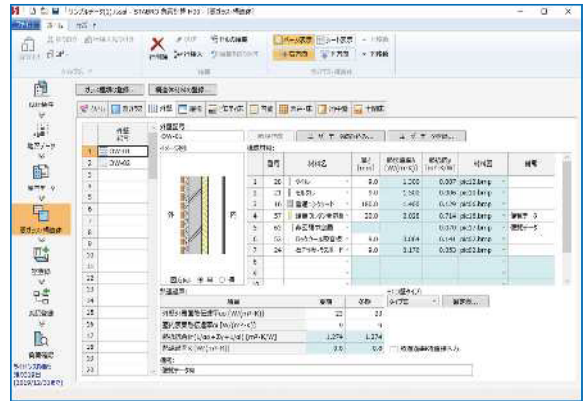
一般的なオフィスソフトと同様な操作性を実現。表形式の入力画面ではExcelとのコピー＆ペースト編集も可能で、大量の入力も手早く効率的にできます。

・すばやく計算、出力帳票の活用

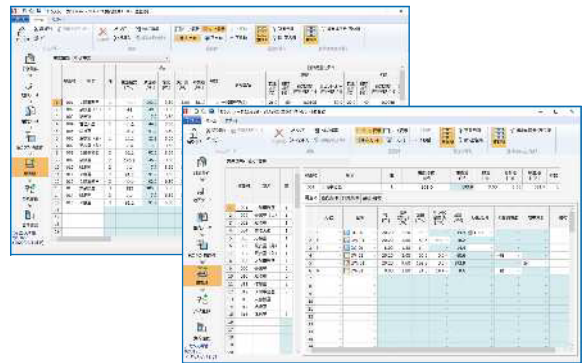
計算は内部で自動実行し、結果が画面上で即座に確認できます。印刷帳票はExcelファイル出力が可能で、出力後の編集も可能です。計算結果のテキストデータ出力にも対応しています。

・ライセンス管理も簡単

インターネットを利用したライセンス認証で管理が簡単です。dongleキーの移動・紛失・更新の煩わしさはありません。



壁の構成がわかりやすい - 構造体登録



2つの入力モードで効率的に作業 - 室登録

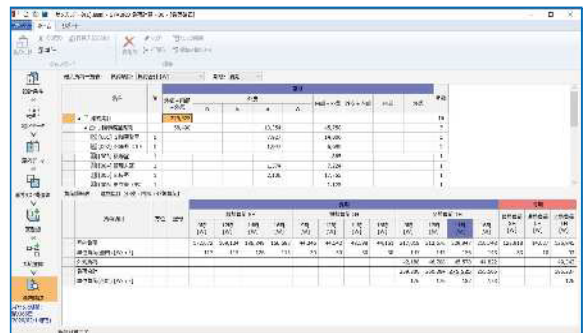
② 低コスト

・いつでも定額

年間の利用契約(サブスクリプション方式)となるのでバージョンアップの際に追加コストはかかりません。

・追加・セットでさらにお得

お得な追加ライセンス価格を用意。個別空調・換気設計ソフト「SeACD」とのセットもお得です。



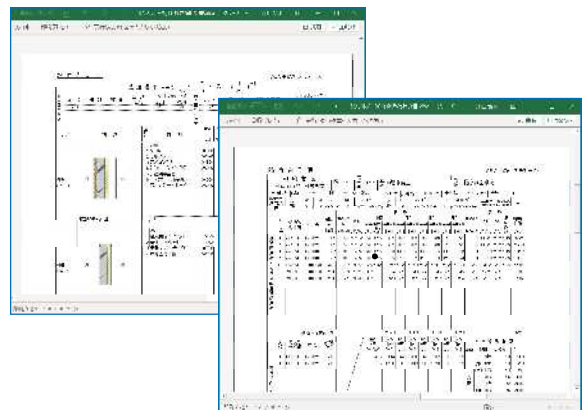
即座に結果が画面表示される - 負荷確認

③ 広がるデータ連携

・空調・換気機器選定ソフト「SeACD」と諸元情報、負荷計算結果のデータ連携ができます。

・設備BIMクラウドサービス「B-LOOP」を使用すると熱負荷計算の入力作業が大幅に省力化します。

・ダイキン工業「DK-BIM」や三菱電機「MEL-BIM」とのデータ連携を行い、計算結果・入力情報の有効活用が可能です。



出力結果を印刷前に確認 - 印刷プレビュー